

昭和四十三年産米の改善並びに計画出荷

◎良質米を作りましよう

春以来好天候と皆さんの努力により良い稔りの秋を迎えました。

今のところ昨年並みの豊作が確保できる見通しなので今年も更に良い米を作って玉川村産米の声価をより高めるよう努力しましょう。

◎良い米を作るには
一、適期に刈取りをする。

刈取適期は米の品質に大きな関係があり刈取り適期を逸すと全般的に品質が悪くなり食味も劣るばかりか胴割米の原因ともなりますので、従来の三分の二程度が黄化した時期が適期です。

(出穂後四〇日)四五日頃) 一、乾燥
乾燥は米の品質保持のため最も重要であり水分は一五%以内を目標として充分乾燥すること。

長期間のはせ掛けは早刈りの効果をなくすので早目に収納脱穀すること。
籾の乾燥はむしろ干し一日四〜五回かくはん)をする。
三、調整充分乾燥した籾を脱穀し二回かけは避ける。
異品種土砂の混入は商品価値を著しく損なうので注意すること。
籾摺りは機械をよく点検しロールずれ又は籾の混入のしないよう注意すること。
二段米選機を使用するか普通米選機(萬石)に二回かけるようすること。
◎正味重量の欠減は米の声価を損うので欠減しない程度の増量をする。
◎計画的な出荷によって適正検査が出来るよう協力すること。
◎作付の計画は種籾を更新し品種を統一すること。



九月一日から軽免許は廃止

「軽免許の廃止」は、さる四十年前に成立した道交法の一部改正に含

まれていたが、その実施は三年後のことし九月からとなっていた。この改正は、運転免許制度の合理化をはかるねらいで考えられたもので、
①八月三十一日までに軽免許を取っている人は、普通免許を受けたものとみなされるが、普通自動車は運転できず、軽自動車(長さ三以下、幅一、三以下、高さ二以下、総排気量三六〇cc以下)しか運転できない。

玉川村第一小学校新築工事始まる

八月二十八日玉川第一小学校主体工事第一期中分請負入札が実施され、三、一六〇万円で(給排水電気、暖房工

②すでに軽免許を持っている人で、普通自動車を運転したい人は、公安委員会が行う審査(技能審査)を受けなければならぬ。
③軽自動車に貨物を積んだ場合、これまで高さの制限は二メートルだったのを、こゝの改正で二、五メートルとなる。
④高速道路を走る場合

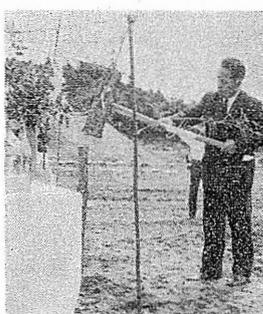
普通自動車は時速百キロまで出せるが、軽自動車はこれまで通り八十キロまでとするとなっている。なお、軽免許はこれまで、十六歳以上から取ることができたが、九月からは普通免許になるため、十八歳以上にならないこととなる。(交対協ニュースより)

住宅統計調査が十月一日行なわれます

今年度第一期工事は、鉄筋コンクリート三階建校舎一棟、一四七平方メートル、出来あがる。

新築起工式
今年度第一期工事は、鉄筋コンクリート三階建校舎一棟、一四七平方メートル、出来あがる。

農業文化祭について
本年も農業文化祭を開催いたす予定でありますので、各種目別に多数出品できるように準備を進めておいて下さい。尚開催日程が確定すれば十月の広報「たまかわ」に掲載いたします。



献血に協力いたしましょう

採血する場合には、どんな事故に逢うかわかりません。絶対に病気をしないと断言もできません。こんな意味から健康なときに献血をして、他人を助け自分病気がなくなったときには、皆さんの献血で助けていただくことが献血の精神です。
献血できる人
十五才以上の人。
(2)過去一ヶ月以内に供血された人。
(3)過去六ヶ月以内に妊娠していた人、現在妊娠している人。
状態の悪い人。
採血しても身体に影響ない
(1)献血手帳(血液型記入)が交付されます
(2)本人や家族に輸血の必要があるときは、玉川村役場住民課(電話川辺二・三二四)

優先的に保存血液がお世話されます。
念品をさあげます。
◎献血についての問い合わせは
県庁厚生部業務課(電話福島三二二)
衛生研究所採血室(電話福島一〇〇四)
福島県石川保健所(電話石川三二二)
玉川村役場住民課(電話川辺二・三二四)

十月一日には、全国的な規模で住宅統計調査が行なわれます。この統計調査は住宅関係の施策に、もっとも必要な統計をつくるための調査で、五年毎に行なわれており、今回は第五回目にあたります。
この調査によって、わが国の各都市各地域の住宅の実情が明らかにされ、その結果は、国や都道府県などが立案実施する住宅建設、都市再開発、地域計画環境整備などの資料として用いられます。
この調査の実施について、みなさまのご協力をお願い致します。
企画室統計係

